

ZENworks Reporting Server インストールガイド

Novell® ZENworks® 11

11

2011 年 1 月 5 日

www.novell.com



保証と著作権

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、この文書の内容または使用について、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。また文書の商品性、および特定の目的への適合性については、明示と黙示を問わず一切保証しないものとします。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、本書の内容を改訂または変更する権利を常に留保します。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、このような改訂または変更を個人または事業体に通知する義務を負いません。

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、すべてのノベル製ソフトウェアについて、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。またノベル製ソフトウェアの商品性、および特定の目的への適合性については、明示と黙示を問わず一切保証しないものとします。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、ノベル製ソフトウェアの内容を変更する権利を常に留保します。

本契約の締結に基づいて提供されるすべての製品または技術情報には、米国の輸出管理規定およびその他の国の貿易関連法規が適用されます。お客様は、すべての輸出規制を遵守し、製品の輸出、再輸出、または輸入に必要なすべての許可または等級を取得するものとします。お客様は、現在の米国の輸出除外リストに掲載されている企業、および米国の輸出管理規定で指定された輸出禁止国またはテロリスト国に本製品を輸出または再輸出しないものとします。お客様は、取引対象製品を、禁止されている核兵器、ミサイル、または生物化学兵器を最終目的として使用しないものとします。ノベル製ソフトウェアの輸出に関する詳細については、[Novell International Trade Services の Web ページ \(http://www.novell.com/info/exports/\)](http://www.novell.com/info/exports/) を参照してください。弊社は、お客様が必要な輸出承認を取得しなかったことに対し如何なる責任も負わないものとします。

Copyright © 2008-2011 Novell, Inc. All rights reserved. 本ドキュメントの一部または全体を無断で複写・転載することは、その形態を問わず禁じます。

Novell, Inc.
404 Wyman Street, Suite 500
Waltham, MA 02451
U.S.A.
www.novell.com

オンラインマニュアル：本製品とその他の Novell 製品の最新のオンラインヘルプにアクセスする場合は、[Novell Documentation \(http://www.novell.com/documentation\)](http://www.novell.com/documentation) の Web ページをご覧ください。

Novell の商標

Novell の商標一覧については、「[商標とサービスの一覧 \(http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html\)](http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html)」を参照してください。

サードパーティ資料

サードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。

目次

このガイドについて	7
1 最小要件	9
1.1 ZENworks Reporting Server の要件	9
1.2 インストールユーザの要件	10
2 ZENworks Reporting Server のインストール	11
2.1 ZENworks 11 Reporting Server のインストールで行うこと	11
2.2 プレインストールタスク	11
2.2.1 最小要件を満たしていることの確認	12
2.2.2 ZENworks Reporting Server の既存インスタンスの廃止	12
2.2.3 Linux のホスト名およびネットワークの要件を満たす	13
2.2.4 ISO ダウンロードからインストール DVD を作成する	13
2.2.5 Oracle クライアントの設定	13
2.2.6 Oracle クライアントのインストール	14
2.3 ZENworks Reporting Server のインストール	18
2.3.1 インストール情報	20
2.4 ファイアウォールの使用	21
2.4.1 ファイアウォールルールの指定	21
3 ZENworks Reporting Server のアンインストール	23
3.1 GUI モードでの ZENworks Reporting Server のアンインストール	23
3.2 コマンドラインモードでの ZENworks Reporting Server のアンインストール	24
3.3 サイレントモードでの ZENworks Reporting Server のアンインストール	24
3.4 Windows の [プログラムの追加と削除] による ZENworks Reporting Server のアンインストール	24
A ZENworks Reporting Server のインストールのトラブルシューティング	25
A.1 ZENworks Reporting Server のエラーメッセージ	25
A.2 ZENworks Reporting Server のトラブルシューティング戦略	26

このガイドについて

この『*Reporting Server* インストールガイド』には、Novell ZENworks 11 ZENworks Reporting Server を正常にインストールするのに役立つ情報が記載されています。このガイドの情報は、次のように構成されます。

- ◆ 9 ページの第 1 章「最小要件」
- ◆ 11 ページの第 2 章「ZENworks Reporting Server のインストール」
- ◆ 23 ページの第 3 章「ZENworks Reporting Server のアンインストール」
- ◆ 25 ページの付録 A「ZENworks Reporting Server のインストールのトラブルシューティング」

対象読者

このガイドは、ZENworks Reporting Server 管理者を対象にしています。

フィードバック

本マニュアルおよびこの製品に含まれているその他のマニュアルについて、皆様のご意見やご要望をお寄せください。オンラインマニュアルの各ページの下部にあるユーザコメント機能を使用するか、または [Novell Documentation Feedback サイト \(http://www.novell.com/documentation/feedback.html\)](http://www.novell.com/documentation/feedback.html) にアクセスして、ご意見をお寄せください。

追加のマニュアル

ZENworks Reporting Server には、製品について学習したり、製品を実装したりするために使用できるその他のマニュアル (PDF 形式および HTML 形式の両方) も用意されています。他のマニュアルについては、「ZENworks 11 (<http://www.novell.com/documentation/zenworks11/>)」を参照してください。

最小要件

ZENworks 11 Reporting Server のインストールでは、カスタム ZENworks インフラストラクチャレポーティングのために ZENworks Reporting Server をインストールします。

次のセクションでは、ZENworks Reporting Server のハードウェアおよびソフトウェアの最小要件について説明します。

- ◆ [9 ページのセクション 1.1 「ZENworks Reporting Server の要件」](#)
- ◆ [10 ページのセクション 1.2 「インストールユーザの要件」](#)

1.1 ZENworks Reporting Server の要件

ZENworks Reporting Server は、既存の ZENworks 11 プライマリサーバにインストールする必要があります。ZENworks Reporting Server のインスタンスは、管理ゾーン内に 1 つしか保持できません。

ZENworks Reporting Server をインストールするサーバは、次の最小要件を満たしている必要があります。

項目	要件	追加の詳細
オペレーティングシステム	Windows:	Windows Server 2003 および Windows Server 2008 の Core Edition および Data Center Edition はすべて、プライマリサーバプラットフォームではサポートされていません。Windows Server 2008 Core は .NET Framework をサポートしていないため、サポートされていません。
	Linux:	ZENworks Reporting Server を SUSE Linux Enterprise Server (SLES) 10 SP3 の 64 ビットプラットフォームにインストールする場合は、必ず、SLES 10 SP3 64 ビットメディアを使用して、libstdc++33-32bit パッケージをインストールするようにしてください。
	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Windows Server 2003 SP1/SP2 x86、x86_64 (Enterprise エディションと Standard エディション) ◆ Windows Server 2008 SP1/SP2 x86、x86_64 (Enterprise エディションと Standard エディション) ◆ Windows Server 2008 R2 x86_64 (Enterprise エディションと Standard エディション) ◆ SUSE Linux Enterprise Server 10 (SLES 10) SP3 x86、x86_64 (Intel プロセッサと AMD Opteron プロセッサ) ◆ SLES 11 x86、x86_64 (Intel プロセッサと AMD Opteron プロセッサ) ◆ SLES 11 SP x86、x86_64 (Intel プロセッサと AMD Opteron プロセッサ) ◆ Open Enterprise Server 2 (OES 2) SP2 (Linux) x86、x86_64 ◆ Red Hat Enterprise Linux 5.0/5.3/5.4/5.5 x86、x86_64 	

項目	要件	追加の詳細
ハードウェア	RAM: 最小 3GB ディスク容量: 最小 5.6GB	Windows では、オペレーティングシステムがインストールされているドライブに少なくとも 5GB の空きディスク容量があることを確認してください(ただし、同じドライブに TEMP 環境変数が設定されていない場合)。TEMP 環境変数がオペレーティングシステムのインストール先と同じドライブに設定されている場合は、そのドライブに少なくとも 10GB の空きディスク容量があるようにしてください。
TCP ポート	3306	ZENworks Reporting Server に組み込まれた MySQL データベースで使します。
	6400	ZENworks Reporting Server の中央管理サーバが使します。
	6410	ZENworks Reporting Server の Server Intelligent Agent が使します。
	6420	ZENworks Reporting Server の監査ポート
	6430	BusinessObjects Enterprise の CMS サーバが、その Request ポートパラメータを設定するのに使します。

1.2 インストールユーザの要件

インストールプログラムを実行するユーザは、デバイスに対する管理者特権を持っている必要があります。例：

- ◆ **Windows:** Windows 管理者としてログインします。
- ◆ **Linux:** root 以外のユーザとしてログインし、sux コマンドを使用して権限を root に昇格させてから、インストールプログラムを実行します。

ZENworks Reporting Server のインストール

2

ZENworks 11 Reporting Server をインストールするには、次の各セクションのタスクを実行します。

- [11 ページのセクション 2.1 「ZENworks 11 Reporting Server のインストールで行うこと」](#)
- [11 ページのセクション 2.2 「プレインストールタスク」](#)
- [18 ページのセクション 2.3 「ZENworks Reporting Server のインストール」](#)
- [21 ページのセクション 2.4 「ファイアウォールの使用」](#)

2.1 ZENworks 11 Reporting Server のインストールで行うこと

ZENworks 11 Reporting Server は、BusinessObjects Reporting Engine XI R3.1 SP3 エンジンを使用し、別個のインストールメディアからインストールされます。

ZENworks Reporting Server の旧バージョンから ZENworks 11 Reporting Server にアップグレードすることはできません。詳細については、『[ZENworks 11 アップグレードガイド](#)』を参照してください。

ZENworks Reporting Server は、ZENworks 11 でサポートされている言語でインストールできます。インストール時間は、選択した言語数によって異なります。

ZENworks Reporting Server は、次のいずれかのインストール方法でインストールできます。

- **GUI (グラフィカルユーザインタフェース):** Windows サーバと Linux サーバの両方で機能するグラフィカルユーザインタフェース (GUI) インストールプログラムは、インストール CD に提供されています。
- **コマンドライン:** コマンドラインインストールは Linux サーバでのみ利用可能です。
- **サイレントモード:** サイレントモードインストールでは、ユーザによる操作は必要ありません。サイレントモードインストールを実行するには、サイレントモード環境設定ファイルを編集し、スイッチを指定してインストールを実行する必要があります。

レポーティングサーバのインストール方法の詳細については、[18 ページのセクション 2.3 「ZENworks Reporting Server のインストール」](#)を参照してください。

2.2 プレインストールタスク

以下の適用可能なタスクを実行し、[18 ページのセクション 2.3 「ZENworks Reporting Server のインストール」](#)に進みます。

- [12 ページのセクション 2.2.1 「最小要件を満たしていることの確認」](#)
- [12 ページのセクション 2.2.2 「ZENworks Reporting Server の既存インスタンスの廃止」](#)
- [13 ページのセクション 2.2.3 「Linux のホスト名およびネットワークの要件を満たす」](#)

- 13 ページのセクション 2.2.4 「ISO ダウンロードからインストール DVD を作成する」
- 13 ページのセクション 2.2.5 「Oracle クライアントの設定」
- 14 ページのセクション 2.2.6 「Oracle クライアントのインストール」

2.2.1 最小要件を満たしていることの確認

- ZENworks 11 サーバのインストール場所には、短い MS-DOS (8.3 と呼ぶ) スタイルの命名法を使用できます。デフォルトでは、8.3 はデバイス上で有効になっています。8.3 を有効にする方法の詳細については、[Microsoft のマニュアル \(http://technet.microsoft.com/en-us/library/cc959352.aspx\)](http://technet.microsoft.com/en-us/library/cc959352.aspx) を参照してください。

ZENworks 11 サーバのインストールパスの詳細については、『[ZENworks 11 インストールガイド](#)』の「[インストール情報](#)」を参照してください。

- サーバソフトウェアをインストールするデバイスが必要な要件を満たしていることを確認します。詳細については、[9 ページの第 1 章「最小要件」](#)を参照してください。
- ポート 6400、3306、6410、6430、および 6420 が空いていることを確認します。これらのポートがビジーの場合、ZENworks Reporting Server をインストールする代替ポートを指定するようプロンプトが表示されます。

これらのポートがファイアウォールでブロックされている場合は、ファイアウォールで有効にする必要があります。詳細については、[21 ページのセクション 2.4「ファイアウォールの使用」](#)を参照してください。

- サーバがネットワークに接続されていることを確認します。
- Novell ZENworks サーバ、Novell ZENworks Loader、Novell ZENworks データベースサービスが実行していることを確認してください。
- ZENworks Reporting Server を SUSE Linux Enterprise Server (SLES) 10 SP3 の 64 ビットプラットフォームにインストールする場合は、必ず、SLES 10 SP3 64 ビットメディアを使用して、libstdc++33-32bit パッケージをインストールするようにしてください。

2.2.2 ZENworks Reporting Server の既存インスタンスの廃止

ZENworks Reporting Server のインスタンスは、管理ゾーン内に 1 つしか保持できません。同じ管理ゾーンに ZENworks Reporting Server の新しいインスタンスをインストールしたい場合は、ZENworks Reporting Server の既存インスタンスを廃止し、新しいインスタンスをインストールする必要があります。

重要: 必ず、既存インスタンスからレポートをアーカイブしてから、新しいインストールを開始してください。これは、新規インストールが完了すると、ZENworks Reporting Server の既存のインスタンスが機能しなくなり、レポートをまったく取得できなくなるためです。アーカイブしたレポートは ZENworks Reporting Server の新しいインスタンスに復元できます。

zman rpsv コマンドを使用して、レポートとユーザ権限を保存し、zman rpld コマンドを使用して、それらを復元できます。詳細については、『[“ZENworks 11 コマンドラインユーティリティリファレンス”](#)』の「[レポートコマンド](#)」を参照してください。

- 1 ZENworks Reporting Server の新しいインスタンスを、ZENworks Configuration Management がインストールされている同じ管理ゾーン内の別のプライマリサーバにインストールします。

メッセージが表示され、ゾーン内に ZENworks Reporting Server がすでに存在することを示します。

- 2 [はい] をクリックして、ZENworks Reporting Server の既存インスタンスを廃止し、ZENworks Reporting Server の新しいインスタンスのインストールを開始します。
- 3 ZENworks Reporting Server の新しいインストールのインストール完了後、廃止した ZENworks Reporting Server のインスタンスをアンインストールします。

ZENworks Reporting Server のアンインストール方法の詳細については、[23 ページの第 3 章「ZENworks Reporting Server のアンインストール」](#)を参照してください。

2.2.3 Linux のホスト名およびネットワークの要件を満たす

Linux サーバの場合、インストールスクリプトを実行する前に、固定ホスト名が設定されている必要があります。システムのこの情報を設定または変更するには、root 権限が必要です。詳細については、Linux システムのマニュアルを参照してください。

2.2.4 ISO ダウンロードからインストール DVD を作成する

ZENworks 11 Reporting Server ソフトウェアを ISO イメージのダウンロードとして取得した場合、Windows 用と Linux 用に別個のインストール DVD を作成して、これらのプラットフォームに ZENworks Reporting Server をインストールする必要があります。

- 1 ZENworks 11 Reporting Server インストール ISO イメージを [Novell Web サイト \(http://www.novell.com/\)](http://www.novell.com/) からダウンロードして、Windows または Linux デバイスの一時ロケーションにコピーします。
- 2 ISO イメージを DVD に記録します。

Linux では、DVD に記録する代わりに ISO マウントポイントからインストールプログラムを実行することもできます。

2.2.5 Oracle クライアントの設定

ZENworks 11 が外部 Oracle 10g R2 (10.2) データベース用に設定されている場合は、ZENworks Reporting Server をインストールする前に、Oracle 10g R2 (10.2) クライアントをインストールし、Net Configuration Assistant を使用して、このクライアントを ZENworks 11 が使用する同じ Oracle データベースに対して設定します。

- 1 ZENworks Reporting Server をインストールするサーバに、Oracle クライアントをインストールします。Oracle クライアントは、ZENworks Configuration Management サーバに設定した外部 Oracle 10g データベースと同じバージョンである必要があります。
 - ◆ Windows 64 ビットプラットフォームでは、Oracle 10g R2 (10.2) 32 ビットクライアントをインストールします。ZENworks Reporting Server は、64 ビット版 Windows プラットフォームでは 32 ビットエミュレーションのみをサポートします。
 - ◆ Linux 64 ビットプラットフォームでは、Oracle 10g R2 (10.2) 64 ビットクライアントをインストールし、次のコマンドを使用して、環境変数 LD_LIBRARY_PATH の値を \$ORACLE_HOME/lib32 に設定します。

```
export LD_LIBRARY_PATH=$ORACLE_HOME/lib32:$LD_LIBRARY_PATH
```

注: Oracle 10g R2 クライアントは、SLES 10 サーバでサポートされていません。
Oracle 10g R2 クライアントを SLES 10 サーバにインストールしたい場合は、Novell Cool Solution の記事「[Install ZRS with Oracle 10g R2 on SLES 10 SP3 with ZCM 10.3.x \(http://www.novell.com/communities/node/11911/install-zrs-oracle-10g-r2-sles-10-sp3-zcm-103x\)](http://www.novell.com/communities/node/11911/install-zrs-oracle-10g-r2-sles-10-sp3-zcm-103x)」を参照してください。

- 2 (オプション) Linux の場合、Oracle クライアントのインストール後、環境変数 ORACLE_HOME の値が、Oracle クライアントをインストールしたディレクトリのパスに設定されているかどうかを確認します。環境変数 ORACLE_HOME がない場合は、新しい環境変数として手動で ORACLE_HOME を追加し、その値を、Oracle クライアントをインストールしたパスに設定します。
- 3 ZENworks 11 の設定時に指定した名前と同じサービス名を持つ新しいサービスを作成し、そのサービスを使用して、最初のプライマリサーバのインストール時に ZENworks 11 Configuration Manager によって作成された Oracle データベースに接続します。
 - ◆ Windows では、[スタート] > [すべてのプログラム] > [Oracle クライアント] > [Configuration and Management tools(設定と管理ツール)] > [Oracle Net Manager] の順にクリックします。
 - ◆ Linux では、\$ORACLE_HOME/bin ディレクトリに移動し、netmgr スクリプトを実行して Oracle Net Manager を開きます。

注: サービスの名前は、zdm.xml ファイルのデータベースエン트리で確認できます。
このファイルは、Linux では /etc/opt/novell/zenworks/datamodel/、Windows では %ZENWORKS_HOME%\conf\datamodel/ にあります。

- 4 TNS_ADMIN 環境変数を正しく設定します。
 - ◆ Windows では、tnsnames.ora ファイルがデフォルトの場所 (%ORACLE_HOME%\NETWORK\ADMIN) にない場合、TNS_ADMIN という名前の新しい環境変数を作成します。TNS_ADMIN 環境変数の値を tnsnames.ora ファイルが存在するディレクトリのパスに設定します。
 - ◆ Linux では、tnsnames.ora ファイルがデフォルトの場所 (\$ORACLE_HOME/network/admin) にない場合、TNS_ADMIN この新しい環境変数の値を tnsnames.ora ファイルが存在するディレクトリのパスに設定します。
- 5 Oracle クライアントが正常にインストールされたかテストします。
 - ◆ Windows では、%ORACLE_HOME%\bin\tnsping new_service_name コマンドを実行します。
 - ◆ Linux では、\$ORACLE_HOME/bin/tnsping new_service_name コマンドを実行します。
new_service_name は [ステップ 3](#) で作成された新しいサービスの名前です。

重要: Linux では、Oracle クライアントのインストールディレクトリに全ユーザに対する読み込み / 実行アクセス権があることを確認してください。

2.2.6 Oracle クライアントのインストール

Oracle クライアントをインストールするには、次の各セクションのタスクを実行します。

- ◆ [15 ページの「プレインストールタスク」](#)

- ◆ 16 ページの「インストールの実行」
- ◆ 17 ページの「インストール後のタスク」

プレインストールタスク

Oracle クライアントのインストールを始める前に、次のタスクを実行してください。

- 1 Oracle クライアントをダウンロードし、ZIP ファイルをデバイス上の一時的な場所 /tmp/oracle に抽出します。
- 2 このデバイスに GCC パッケージがインストールされていることを確認してください。
- 3 RHEL の場合は、次のパッケージをインストールします。
 - ◆ xorg-x11-libs-6.8.2-31.i386
 - ◆ xorg-x11-deprecated-libs-6.8.2-1.EL.13.20.i386
- 4 コマンドプロンプトで次のコマンドを使用して、Oracle インベントリグループを作成します。

```
/usr/sbin/groupadd oinstall
```

- 5 次のコマンドを使用して、Oracle ソフトウェア所有者を作成します。

```
/usr/sbin/useradd oracle
```

```
/usr/sbin/useradd -G oinstall oracle
```

Oracle ユーザのデフォルトグループが oinstall であることを確認します。

- 6 Oracle をインストールするには、次の手順を実行します。
 - ◆ SLES 10/11 の場合は /etc/SuSe-release ファイルのバックアップを取り、RHEL の場合は /etc/redhat-release ファイルのバックアップを取ります。
 - ◆ SUSE Linux Enterprise Server (SLES) 10/11 では、次のように /etc/SuSe-release ファイルを編集します。
 - ◆ SUSE Linux Enterprise Server 9 (x86_64)
 - ◆ Version = 9
 - ◆ Patchlevel = 3
 - ◆ Red Hat Enterprise Linux (RHEL) では、次のように /etc/redhat-release ファイルを編集します。
 - ◆ Red Hat Enterprise Linux Server release 4.0 (Tikanga)

- 7 次のコマンドを使用して、Oracle ベースディレクトリを作成します。

```
mkdir /oracle
```

- 7a 次のコマンドを使用して、このディレクトリに対する権限を割り当てます。

```
chown -R oracle:oinstall /oracle
```

```
chmod -R 775 /oracle
```

- 7b 次のコマンドを使用して、Oracle ユーザに切り替えます。

```
su - oracle
```

- 7c 次のコマンドを実行して、シェル起動ファイルを作成します (ファイルが Oracle ユーザのホームにない場合)。

```
cd $HOMEtouch .bash_profile
```

または

シェル起動ファイル .bash_profile を編集し、次の行を付加します。

```
umask 022
```

7d 次のコマンドを実行して、.bash_profile ファイルに対する権限を割り当てます。

```
chmod +x /home/oracle/.bash_profile
```

7e ファイルを保存し、次のコマンドを使用して実行します。

```
./bash_profile
```

7f ORACLE_BASE 環境変数を設定します。

```
ORACLE_BASE=/oracle
```

```
export ORACLE_BASE
```

7g root として次のコマンドを実行して、Oracle セットアップディレクトリに対する権限を割り当てます。

```
chmod -R +x /tmp/oracle
```

```
xhost +
```

インストールの実行

- 1 コマンドプロンプトで次のコマンドを実行することにより、/tmp/oracle から Oracle ユーザとして [Oracle クライアントのインストール] ページを起動します。

```
cd client/
```

```
./runInstaller
```

- 2 [インストール方法を選択する] ページで、[高度なインストール] オプションを選択します。
- 3 [次へ] をクリックします。
[インベントリディレクトリと資格情報を指定する] ページが表示されます。
- 4 グループ名が oinstall であることを確認してから、[次] をクリックします。
[インストールタイプを選択する] ページが表示されます。
- 5 [管理者] を選択し、[次] をクリックします。
[ホームの詳細を指定する] ページが表示されます。
- 6 [宛先] パネルで、次の手順を実行します。
 - 6a [名前] フィールドで、インストールの名前を指定します。
 - 6b [パス] フィールドで、製品のインストール先にするフォルダを指定します。
たとえば、/oracle/oracle/product/10.2.0/db_1
- 7 [次へ] をクリックします。
[製品固有の前提条件のチェック] ページが表示されます。このウィザードの起動には、数秒かかることがあります。
- 8 [次へ] をクリックします。
[Summary] ページが表示されます。
- 9 [インストール] をクリックします。

[Oracle Net Configuration Assistant: Welcome] ウィンドウが表示されます。このウィンドウの起動には、数秒かかることがあります。

- 10 [次へ] をクリックします。
[Oracle Net Configuration Assistant: Naming Methods Configuration, Select Naming Methods] ウィンドウが表示されます。
- 11 [Service Name] フィールドで、最初のプライマリサーバで ZENworks 11 の設定時に指定したサービス名を指定して、[Next] をクリックします。
- 12 [Oracle Net Configuration Assistant: Net Service Name Configuration, TCP/IP Protocol] ウィンドウで、ホスト名を指定して、[Next] をクリックします。
- 13 (オプション) [Oracle Net Configuration Assistant: Net Service Name Configuration, Test] ウィンドウで、[Yes, perform a test] を選択し、[Next] をクリックします。
- 14 [Oracle Net Configuration Assistant: Net Service Name Configuration, Connecting] ウィンドウで、[Change Login] をクリックします。
14a [Change Login] ダイアログボックスで、ユーザ名とパスワードを指定し、[OK] をクリックします。
- 15 [次へ] をクリックします。
[Oracle Net Configuration Assistant: Net Service Name Configuration, Net Service Name] ウィンドウが表示されます。
- 16 [Net Service Name] フィールドで、[ステップ 11](#) で指定したネットサービスの名前を指定し、[Next] をクリックします。
[Oracle Net Configuration Assistant: Net Service Name Configuration, Another Net Service Name] ウィンドウが表示されます。
- 17 別のサービス名を作成する場合は、[Yes] を選択し、そうでない場合は [No] を選択します。
- 18 [次へ] をクリックします。
[Oracle Net Configuration Assistant: Net Service Name Configuration Done] ウィンドウが表示されます。
- 19 [次へ] をクリックします。
[Oracle Net Configuration Assistant: Naming Methods Configuration Done] ウィンドウが表示されます。
- 20 [次へ] をクリックします。
[Oracle Net Configuration Assistant: Done] ウィンドウが表示されます。
- 21 [完了] をクリックします。
- 22 Oracle ユーザとしてログアウトし、root として次のコマンドを実行して、インストールを完了します。

```
/oracle/oraInventory/orainstRoot.sh
```

```
/oracle/oracle/product/10.2.0/db_1/root.sh
```

インストール後のタスク

Oracle クライアントのインストールに成功したら、次のタスクを実行してください。

- 1 /etc/SuSE-release ファイルまたは /etc/redhat-release ファイルを編集し、[15 ページの「プレインストールタスク」](#)で行った変更を削除し、ファイルを保存します。

- 2 /etc/profile.local ファイルを編集するか、ファイルが使用できない場合は次のコマンドでファイルを作成し、最後にファイルを保存します。

```
ORACLE_BASE=/oracleExport ORACLE_BASE=/oracle ORACLE_HOME=/oracle/oracle/product/10.2.0/db_1Export ORACLE_HOME
```

- 3 端末で、次のコマンドを入力します。

```
chmod +x /etc/profile.local
```

- 4 次のコマンドを使用して、Oracle ホームディレクトリに対する権限を割り当てます。

```
chmod -R +755 /oracle/oracle/product/10.2.0/db_1
```

2.3 ZENworks Reporting Server のインストール

- 1 次のいずれかの方法を使用して、ZENworks Reporting Server のインストールプログラムを起動します。

- ◆ GUI(グラフィカルユーザインタフェース) のインストール

1. インストールサーバで、*Novell ZENworks 11 with Reporting Server DVD for Windows* を挿入します。

Windows デバイスでは、DVD を挿入するとインストールが自動的に開始されます。表示されたインストールページから言語を選択することもできます。インストールが自動的に開始されない場合は、DVD を挿入した後に `setup.exe` をルートから実行します。

Linux デバイスの場合は、DVD をマウントして、`sh /media/cdrom/setup.sh` を実行します。

- ◆ コマンドラインインストール (Linux のみ)

1. インストールサーバで、*Novell ZENworks 11 with Reporting Server DVD for Linux* を挿入します。
2. DVD をマウントします。

3. すべてのユーザ (「others」を含む) が読み込みおよび実行アクセスを持つディレクトリにコマンドラインインストールを開始するには、DVD をマウントするか、または DVD のファイルを一時的に /root ディレクトリ以外の適当な場所にコピーします。

コピーしたファイルとその親ディレクトリに、すべてのユーザ (「others」を含む) が読み込みおよび実行アクセスを持つことを確認します。

4. 次のコマンドを実行します。

```
/mount_location/setup.sh -e
```

- ◆ サイレントモードインストール

1. 次のコマンドを使用して、サイレントインストール環境設定ファイルを作成します。

```
setup.exe/setup.sh -s
```

2. サイレントインストール環境設定ファイルをテキストエディタで開きます。

3. `ADMINISTRATOR_PASSWORD=` を検索します。

4. `$lax.nl.env.ADMIN_PASSWORD$` を実際のパスワードに置き換えます。

たとえば、パスワードが novell の場合、エントリは次のようになります。

```
ADMINISTRATOR_PASSWORD=novell.
```

5. サイレントインストール環境設定ファイルを保存して、テキストエディタを終了します。
6. 次のコマンドを使用して、サイレントインストール環境設定ファイルを実行します。

```
setup.exe/setup.sh -s -f path_to_the_silent_install_file
```

- 2 インストール中にインストールに必要なデータの詳細を [20 ページの表 2-1 「インストール情報」](#) 内の情報で参照してください。

GUI インストールを使用している場合は、[ヘルプ] ボタンをクリックして同様の情報を参照することができます。

コマンドラインの場合は、「back」と入力して < Enter > を押すと、前のインストールオプションに戻って変更することができます。

いずれの場合も、インストールプロセスを完了するための一環として、データベースが更新され、このプロセス中には CPU 利用率が上昇します。このため、サービスの起動が遅くなる可能性があります。

- 3 (オプション) Linux サーバで Oracle データベースを選択した場合は、環境変数 LD_LIBRARY_PATH が、\$ORACLE_HOME/lib または \$ORACLE_HOME/lib32 が含まれるディレクトリのパスに設定されているかどうかを確認します。環境変数 LD_LIBRARY_PATH がない場合は、環境変数に追加して、その値を、\$ORACLE_HOME/lib32 が含まれるディレクトリのパスに設定します。\$ORACLE_HOME/lib32 へのパスが有効なパスでない場合は、環境変数の値を、\$ORACLE_HOME/lib が含まれるディレクトリのパスに設定します。

- 4 ZENworks Reporting Server をインストール後、デバイスを再起動します。

ZENworks Reporting Server を GUI(グラフィカルユーザインタフェース) インストーラ経由でインストールした場合、インストールログは次の場所にあります。

◆ **Windows の場合 :**

- ◆ %zenworks_home%\logs\ZENworks Reporting Server_date time.log.xml
- ◆ %zenworks_home%\logs\wdeploy-date-time.log
- ◆ %zenworks_home%\logs\ZENworks_Reporting_Install_CheckOracleClient_dd MMM_yyyy_HH-mm-ss.log

◆ **Linux の場合 :**

- ◆ /var/opt/novell/log/zenworks/ZENworks Reporting Server_date time.log.xml
- ◆ /var/opt/novell/log/zenworks/wdeploy-date-time.log
- ◆ %zenworks_home%\logs\ZENworks_Reporting_Install_CheckOracleClient_dd MMM_yyyy_HH-mm-ss.log

重要 : ZENworks 11 ZENworks Reporting Server はメディアからのみインストールできます。ネットワークドライブへマッピングしてインストールすることはできません。

2.3.1 インストール情報

必要な情報はインストールフローの順番で一覧表示されています。

表 2-1 インストール情報

インストール情報	説明
インストールパス	<p>ZENworks Reporting Server は、ZENworks 11 Configuration Management のインストールフォルダである %ZENWORKS_HOME%\share\boe(Windows の場合) または \$ZENWORKS_HOME/share/boe(Linux の場合) にインストールされます。詳細については、『ZENworks 11 インストールガイド』の「インストール情報」を参照してください。</p> <p>注：Linux デバイスでは、ZENworks Reporting Server インストーラへのパス名に空白スペースを入れないようにしてください。</p>
前提条件	<ul style="list-style-type: none">ユーザ名とパスワードを入力するよう、インストーラによってプロンプトが表示されます。この場合、ZENworks ゾーンのスーパー管理者のユーザ名とパスワードを指定します。インストーラは、ZENworks 11 Configuration Management サーバがデバイスにインストールされているかどうかをチェックします。インストーラは、ZENworks Reporting Server のインスタンスがゾーン内に存在するかどうかをチェックします。存在する場合、インストーラは、その既存の ZENworks Reporting Server インスタンスの廃止を求めてきます。 詳細については、12 ページのセクション 2.2.2「ZENworks Reporting Server の既存インスタンスの廃止」を参照してください。資格情報が正しければ、インストーラは、デバイスの空きディスク容量、オペレーティングシステム、システムアーキテクチャなど、その他の前提条件をチェックします。ZENworks 11 Configuration Management が Oracle データベースに対してインストールされている場合は、ZENworks Reporting Server インストーラは、Oracle クライアントがデバイスにインストールされているかどうかともチェックします。Oracle クライアントが見つからなかった場合、エラーが表示され、インストールは終了します。必要な前提条件を満たしていない場合、インストールを続行することはできません。満たされていない前提条件は、GUI に表示されるか、コマンドラインに一覧にされます。 <p>重要：ZENworks Reporting Server のインストール後は、ZENworks プライマリサーバの認証局 (CA) のタイプを変更できません。</p> <p>[デフォルトの復元] ボタンはこのページに最初にアクセスしたときに表示されるパスを復元します。</p>
インストール前の概要	<p>GUI インストール：この時点までに入力した情報を変更するには、[前へ] をクリックします。インストールを開始するには、[インストール] をクリックします。</p> <p>インストールを終了するには、[キャンセル] をクリックします。インストールをキャンセルした場合、ロールバックは実行されません。</p> <p>コマンドラインインストール：この時点までに入力した情報を変更するには、「back」と入力して <Enter> を押します。</p> <p>インストールを終了するには、<Ctrl>+<C> を押します。インストールをキャンセルした場合、ロールバックは実行されません。</p>

インストール情報	説明
インストールの完了	インストールが正常に完了すると、確認が表示されます。 インストールディレクトリに、boe フォルダが作成されます。
ZENworks Reporting Server のバージョン	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Linux の場合： <ul style="list-style-type: none"> ◆ ZENworks Reporting Server の初回インストール時のゾーンのバージョンは、/opt/novell/zenworks/share/boe/version # ディレクトリ内の ZENworksReportingServerVersion.txt ファイルにあります。 ◆ 現在発行されているレポートとユニバースのバージョンは、/opt/novell/zenworks/share/boe-publish/version ディレクトリ内の ZENworksReportingServiceComponentsVersion.txt ファイルにあります。 ◆ Windows の場合： <ul style="list-style-type: none"> ◆ ZENworks Reporting Server の初回インストール時のゾーンのバージョンは、%ZENWORKS_HOME%\share\boe\version # ディレクトリ内の ZENworksReportingServerVersion.txt ファイルにあります。 ◆ 現在発行されているレポートとユニバースのバージョンは、%ZENWORKS_HOME%\share\boe-publish\version ディレクトリ内の ZENworksReportingServiceComponentsVersion.txt ファイルにあります。

2.4 ファイアウォールの使用

ZENworks Reporting Server はファイアウォールシステムと連携動作するため、ネットワークセキュリティを損なうことなく、イントラネットやインターネットの区別なくレポートリングを提供できます。

このセクションでは、パケットフィルタリングファイアウォール環境で ZENworks Reporting Server を設定する方法について説明します。これ以外のタイプのファイアウォール環境における ZENworks Reporting Server の動作の詳細については、『*BusinessObjects Enterprise XI Release 3 SP3 展開設定ガイド* (<http://support.businessobjects.com/documentation/default.asp>)』を参照してください。

2.4.1 ファイアウォールルールの指定

ZENworks Reporting Server と他の ZENworks プライマリサーバ間にファイアウォールがある場合は、インバウンドアクセスルールを指定する必要があります。このルールを指定する方法の詳細については、ファイアウォールのマニュアルを参照してください。

次の表は、インバウンドアクセスルールの一覧です。

表 2-2 インバウンドアクセスルール

ソースデバイス	ポート	宛先デバイス	ポート	アクション
ZENworks プライマリサーバ	すべて	ZENworks Reporting Server(CMS)	6400	Allow
ZENworks プライマリサーバ	すべて	ZENworks Reporting Server(CMS)	6430	Allow

ソースデバイス	ポート	宛先デバイス	ポート	アクション
ZENworks プライマリサーバ	すべて	ZENworks Reporting Server(その他の ZENworks Reporting Server サービス)	6430	Allow
任意のマシン	すべて	ZENworks Reporting Server(CMS)	すべて	Reject
すべて	すべて	ZENworks Reporting Server(その他の ZENworks Reporting Server サービス)	すべて	Reject

ZENworks Reporting Server のアンインストール

3

管理ゾーン内のプライマリサーバで、まず ZENworks Reporting Server をアンインストールしてから ZENworks Configuration Management をアンインストールする必要があります。

注：ZENworks Reporting Server は、インストール時と同じモードでアンインストールされます。

たとえば、コマンドラインモードを使用して ZENworks Reporting Server をインストールした場合、アンインストールプログラムはサーバをコマンドラインモードのみでアンインストールします。

- [23 ページのセクション 3.1 「GUI モードでの ZENworks Reporting Server のアンインストール」](#)
- [24 ページのセクション 3.2 「コマンドラインモードでの ZENworks Reporting Server のアンインストール」](#)
- [24 ページのセクション 3.3 「サイレントモードでの ZENworks Reporting Server のアンインストール」](#)
- [24 ページのセクション 3.4 「Windows の \[プログラムの追加と削除\] による ZENworks Reporting Server のアンインストール」](#)

3.1 GUI モードでの ZENworks Reporting Server のアンインストール

- 1 アンインストールプログラムを起動します。

Windows の場合は、次のコマンドを実行します。

```
%ZENWORKS_HOME%\bin\zrsuninstall.exe
```

Linux の場合は、次のコマンドを実行します。

```
/opt/novell/zenworks/bin/zrsuninstall
```

[レポーティングサーバのアンインストール] ページが表示されます。

- 2 [アンインストール] をクリックします。
- 3 アンインストーラは、ゾーン内にアクティブな ZENworks Reporting Server がないかどうかをチェックします。
- 4 プロンプトが表示されるので、[はい] をクリックします。
アンインストールが開始されます。
- 5 [アンインストールが終了しました] ページで [完了] をクリックします。

3.2 コマンドラインモードでの ZENworks Reporting Server のアンインストール

- 1 アンインストールプログラムを起動します。
Linux の場合は、次のコマンドを実行します。
`/opt/novell/zenworks/bin/zrsuninstall`
アンインストールが開始されます。
- 2 画面のプロンプトに従って、アンインストールプロセスを完了します。

注：Linux プラットフォームで ZENworks Reporting Server をアンインストールする場合は、一部の Business Objects Enterprise ファイルがデバイスから削除されません。次の Business Objects Enterprise ファイルは、手動で削除する必要があります。

- ♦ `/etc/init.d/rc3.d/S10BobjEnterprise120`
 - ♦ `/etc/init.d/rc3.d/K12BobjEnterprise120`
 - ♦ `/etc/init.d/rc5.d/S10BobjEnterprise120`
 - ♦ `/etc/init.d/rc5.d/K12BobjEnterprise120`
-

3.3 サイレントモードでの ZENworks Reporting Server のアンインストール

- 1 アンインストールプログラムを起動します。
Windows の場合は、次のコマンドを実行します。
`%ZENWORKS_HOME%\bin/zrsuninstall.exe`
Linux の場合は、次のコマンドを実行します。
`/opt/novell/zenworks/bin/zrsuninstall`

Windows デバイスで、Windows - %ZENWORKS_HOME%\logs/ZRSuninstall_dd_mm_yyyy_hh.mm.ss.log ファイルでログを参照できます。Linux デバイスでは、`linux - /var/opt/novell/log/zenworks/ZRSuninstall_dd_mm_yyyy_hh.mm.ss.log` ファイルのログを参照できます。

3.4 Windows の [プログラムの追加と削除] による ZENworks Reporting Server のアンインストール

- 1 デスクトップで、[スタート] > [設定] > [コントロールパネル] > [プログラムの追加と削除] の順にクリックします。
- 2 [プログラムの追加と削除] ウィンドウで、[ZENworks Reporting Server] を選択後、[削除] をクリックします。

ZENworks Reporting Server のインストールのトラブルシューティング

A

次の各セクションでは、Novell ZENworks 11 Reporting Server の操作中に発生する可能性がある問題の解決方法について説明します。

- 25 ページのセクション A.1 「ZENworks Reporting Server のエラーメッセージ」
- 26 ページのセクション A.2 「ZENworks Reporting Server のトラブルシューティング戦略」

A.1 ZENworks Reporting Server のエラーメッセージ

このセクションでは、ZENworks Reporting Server の使用時に表示される可能性があるエラーメッセージの一部を詳細に説明します。

- 25 ページの「ZENworks Reporting Server のアンインストールは失敗しました」
- 25 ページの「オペレーティングシステムの要件が満たされません」
- 25 ページの「このデバイスはアクティブなレポーティングサーバです。ZENworks 11 Reporting Server をアンインストールすると、エントリがデータベースから削除されます」

ZENworks Reporting Server のアンインストールは失敗しました

ソース：ZENworks 11、ZENworks Reporting Server。

考えられる原因：Novell ZENworks Loader サービスが、アンインストールプロセスの最後で再起動に失敗しました。

アクション：Novell ZENworks Loader サービスを手動で再起動します。

オペレーティングシステムの要件が満たされません

原因：ZENworks 11、ZENworks Reporting Server。

考えられる原因：このエラーメッセージは、Windows Server 2008 R2 プラットフォームに ZENworks Reporting Server がインストールされている場合に Oracle 10g R2 クライアントをインストールしようとする则表示されます。

アクション：[オペレーティングシステム要件] フィールドの横のチェックボックスを選択して、状態を [オペレーティングシステム要件が満たされません] から [ユーザ確認済み] に変更し、インストールを続行します。

このデバイスはアクティブなレポーティングサーバです。ZENworks 11 Reporting Server をアンインストールすると、エントリがデータベースから削除されます

原因：ZENworks 11、ZENworks Reporting Server。

説明: これは、ZENworks 11 環境で古いバージョンの ZENworks Reporting Server をアンインストールする際に表示される正しくないメッセージです。

アクション: このエラーメッセージは無視してください。[OK] をクリックして、ダイアログボックスを閉じ、アンインストールを続行します。

A.2 ZENworks Reporting Server のトラブルシューティング戦略

このセクションでは、ZENworks Reporting Server の使用時に発生する可能性がある問題の解決策を示します。

- ◆ 26 ページの「ZENworks Reporting Server インストールが、Oracle データベースを使用している 64 ビット Windows デバイスで失敗する」
- ◆ 27 ページの「ZENworks Reporting Server サービスのデバッグログを有効にする方法」
- ◆ 27 ページの「BusinessObjects Enterprise ログファイルの場所」
- ◆ 27 ページの「ZENworks Reporting Server のログファイルの場所」
- ◆ 28 ページの「ホストマシンにその仮想マシンの CD-ROM としてマウントされた ZCM_REPORTING_10.x.0.iso ファイルを使用した場合、レポーティングサーバの仮想マシンへのインストールが失敗する」
- ◆ 28 ページの「ZENworks Reporting Server を削除した後も、ZENworks Reporting Server を削除できないというメッセージが表示される」
- ◆ 28 ページの「ZENworks Reporting Server のアンインストールプロセスが失敗したというメッセージが、ZENworks Reporting Server のアンインストール中に表示される」
- ◆ 29 ページの「Windows で、同じデバイスで別のインストールが実行されている場合、レポーティングサーバのアンインストールに失敗することがある」
- ◆ 29 ページの「ZENworks データベースが MS SQL Server データベースで、認証モードが Windows 認証の場合、レポーティングが動作しない」

ZENworks Reporting Server インストールが、Oracle データベースを使用している 64 ビット Windows デバイスで失敗する

ソース: ZENworks 11、ZENworks Reporting Server。

考えられる原因: ZENworks Configuration Management に指定されているインストールパスに括弧が含まれている可能性があります。

アクション 1: 同じプライマリサーバ上に ZENworks Reporting Server をインストールする場合:

- 1 ZENworks Configuration Management をプライマリサーバからアンインストールします。
- 2 ZENworks Configuration Management を、パス名に括弧が含まれないカスタマイズした場所にインストールします。詳細については、『“ZENworks 11 インストールガイド”』の「[インストール情報](#)」を参照してください。

アクション 2: 別のプライマリサーバ上に ZENworks Reporting Server をインストールする場合 :

- 1 新しいサーバ上に、ZENworks Configuration Management を、パス名に括弧が含まれないカスタマイズした場所にインストールします。詳細については、『“ZENworks 11 インストールガイド”』の「インストール情報」を参照してください。
- 2 ZENworks Reporting Server をインストールします。

ZENworks Reporting Server サービスのデバッグログを有効にする方法

ソース : ZENworks 11、ZENworks Reporting Server。

アクション : ログを有効にするには、Novell Support Knowledgebase (http://support.novell.com/search/kb_index.jsp) の TID 3418069 を参照してください。

BusinessObjects Enterprise ログファイルの場所

ソース : ZENworks 11、ZENworks Reporting Server。

アクション : ZENworks Reporting Server インストールのログファイルは、次の場所にあります。

Windows の場合 :

%zenworks_home%\share\boe\Business Objects Enterprise 120\logging\BOEInstall_0.log

Linux の場合 :

/opt/novell/zenworks/share/boe/bobje/logging/install_timestamp.log

ZENworks Reporting Server トレースファイルは、次の場所にあります。

Windows の場合 :

%zenworks_home%\share\boe\Business Objects Enterprise 120\logging

Linux の場合 :

/opt/novell/zenworks/share/boe/bobje/logging/

ZENworks Reporting Server のログファイルの場所

ソース : ZENworks 11、ZENworks Reporting Server。

アクション : ZENworks Reporting Server を GUI(グラフィカルユーザインタフェース) インストーラ経由でインストールした場合、インストールログは次の場所にあります。

◆ Windows の場合 :

- ◆ %zenworks_home%\logs\ZENworks Reporting Server_date time.log.xml
- ◆ %zenworks_home%\logs\wdeploy-date-time.log
- ◆ %zenworks_home%\logs\ZENworks_Reporting_Install_CheckOracleClient_dd_MM_yyyy_HH-mm-ss.log

◆ **Linux の場合：**

- ◆ /var/opt/novell/log/zenworks/ZENworks Reporting Server__date time.log.xml
- ◆ /var/opt/novell/log/zenworks/wdeploy-date-time.log
- ◆ %zenworks_home%\logs\ZENworks_Reporting_Install_CheckOracleClient_dd_MM_yyyy_HH-mm-ss.log

ホストマシンにその仮想マシンの CD-ROM としてマウントされた ZCM_REPORTING_10.x.0.iso ファイルを使用した場合、レポートイングサーバの仮想マシンへのインストールが失敗する

ソース：ZENworks 11、ZENworks Reporting Server。

アクション 1: ZCM_REPORTING_10.x.0.iso ファイルを仮想マシンのディレクトリに展開し、そのディレクトリから ZENworks Reporting Server のインストールを実行します。

アクション 2: ZCM_REPORTING_10.x.0.iso ファイルを DVD にコピーし、これを使用して ZENworks Reporting Server を仮想マシン上にインストールします。

ZENworks Reporting Server を削除した後も、ZENworks Reporting Server を削除できないというメッセージが表示される

ソース：ZENworks 11、ZENworks Reporting Server。

アクション：このエラーメッセージは無視してください。[完了] をクリックして、[アンインストールが完了しました] ウィンドウを閉じます。

ZENworks Reporting Server のアンインストールプロセスが失敗したというメッセージが、ZENworks Reporting Server のアンインストール中に表示される

ソース：ZENworks 11、ZENworks Reporting Server。

説明：これは正しくないメッセージで、Novell ZENworks Loader サービスをアンインストールプロセスの終了時に再起動できなかった場合に、アンインストールプロセス中に表示されます。

また、ZENworks Reporting Server アンインストールログファイルとサービスメッセージログファイルに、それぞれ次のメッセージが記録されます。

- ◆ “[ERROR] [8/10/09 1:10:00 PM] [] [UNINSTALL] [ZRS Uninstall Failed with exceptioncom.novell.zenworks.configure.ConfigureException: 2]([エラー] [8/10/09 1:10:00 PM] [] [アンインストール] [ZRS アンインストールが exceptioncom.novell.zenworks.configure.ConfigureException: 2 で失敗しました])”
- ◆ “Failed to send RPC command to the zenloader process: settings.refresh”(zenloader プロセス :settings.refresh への RPC コマンドの送信に失敗しました)

アクション：Novell ZENworks Loader サービスを手動で再起動します。

Windows で、同じデバイスで別のインストールが実行されている場合、レポーティングサーバのアンインストールに失敗することがある

ソース：ZENworks 11、ZENworks Reporting Server。

説明： %ZENWORKS_HOME%\logs\zrsuninstall.log ファイルに次のメッセージが記録されます。

```
ERROR_INSTALL_ALREADY_RUNNING
```

アクション： 以下を実行します。

- 1 Windows のタスクマネージャを開き、msiexec.exe および setup.exe のすべてのインスタンスを停止します。
- 2 ZENworks Reporting Server をアンインストールします。

ZENworks データベースが MS SQL Server データベースで、認証モードが Windows 認証の場合、レポーティングが動作しない

ソース：ZENworks 11、ZENworks Reporting Server。

説明： レポートの実行中に次のエラーが表示されることがあります。

```
A database error occurred. The database error text is:  
[Microsoft][ODBC SQL Server Driver][SQL Server] Login failed  
for user "NT  
AUTHORITY\ANONYMOUS LOGON"..(WIS 10901)
```

アクション： 以下を実行します。

- 1 ZENworks Configuration Management データベースをホストする Windows サーバのドメインユーザアカウントに、%ZENWORKS_HOME%\conf\security ディレクトリに対する読み込み許可と、%ZENWORKS_HOME%\share\boe ディレクトリに対するフル制御の許可を付与します。非ドメインユーザの場合、ZENworks Configuration Management Server データベースと ZENworks Reporting Server で、ユーザ名とパスワードが同一でなければなりません。非ドメインユーザにも、読み込みとフル制御の許可を与える必要があります。
- 2 ZENworks サーバで ZENworks Reporting Server サービスのプロパティを編集します。
- 3 デスクトップの [スタート] メニューから、[すべてのプログラム] > [ZENworks Reporting Server] > [ZENworks Reporting Server] > [Central Configuration Manager] の順にクリックします。
[Central Configuration Manager] ウィンドウが表示されます。
- 4 [Server Intelligence Agent (ZENReporting)] を右クリックして、[中止] をクリックします。
- 5 [Server Intelligence Agent (ZENReporting)] を右クリックして、[プロパティ] をクリックします。
[Server Intelligence Agent (ZENReporting) のプロパティ] ウィンドウが表示されます。

- 6 [ログオン] パネルで [システムアカウント] を選択解除し、ZENworks Configuration Management データベースをホストする Windows サーバのドメインアカウントのユーザ名とパスワードを指定します。
- 7 [OK] をクリックします。
- 8 [*Server Intelligence Agent (ZENReporting)*] を右クリックして、[開始] をクリックします。